

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 22 年 9 月 9 日 (2010.9.9)

【公開番号】特開 2009-249556 (P2009-249556A)
 【公開日】平成 21 年 10 月 29 日 (2009.10.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-043
 【出願番号】特願 2008-101116 (P2008-101116)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 7/00 (2006.01)
 H 0 1 L 31/04 (2006.01)
 H 0 1 L 23/29 (2006.01)
 H 0 1 L 23/31 (2006.01)
 C 0 8 L 23/04 (2006.01)
 C 0 8 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 7/00 3 0 5
 C 0 8 J 7/00 C E S
 H 0 1 L 31/04 F
 H 0 1 L 23/30 F
 C 0 8 L 23/04
 C 0 8 K 5/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 7 月 27 日 (2010.7.27)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

樹脂を軟化させて密着させる樹脂封止シートにおいて、前記樹脂封止シートを構成する電離性放射線架橋型樹脂に電離性放射線を照射してゲル分率を 2 - 60 w t % とすることを特徴とする樹脂封止シート。

【請求項 2】

架橋した電離性放射線架橋型樹脂層を有する樹脂封止シートであって、前記電離性放射線架橋型樹脂層のゲル分率が 2 - 60 w t % である、樹脂封止シート。

【請求項 3】

前記電離性放射線架橋型樹脂がエチレン - 酢酸ビニル共重合体、エチレン - 脂肪族不飽和カルボン酸共重合体、エチレン - 脂肪族不飽和カルボン酸エステル共重合体、又はポリオレフィン樹脂の少なくとも 1 種類の樹脂を含む請求項 1 又は 2 記載の樹脂封止シート。

【請求項 4】

0 . 0 1 - 5 w t % のカップリング剤を含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の樹脂封止シート。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の樹脂封止シートを用いた太陽電池モジュール。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

すなわち、本発明は下記の通りである。

(1) 樹脂を軟化させて密着させる樹脂封止シートにおいて、前記樹脂封止シートを構成する電離性放射線架橋型樹脂に電離性放射線を照射してゲル分率を2 - 60 wt %とすることを特徴とする樹脂封止シート。

(2) 架橋した電離性放射線架橋型樹脂層を有する樹脂封止シートであって、前記電離性放射線架橋型樹脂層のゲル分率が2 - 60 wt %である、樹脂封止シート。

(3) 前記電離性放射線架橋型樹脂がエチレン - 酢酸ビニル共重合体、エチレン - 脂肪族不飽和カルボン酸共重合体、エチレン - 脂肪族不飽和カルボン酸エステル共重合体、又はポリオレフィン樹脂の少なくとも1種類の樹脂を含む(1)又は(2)記載の樹脂封止シート。

(4) 0.01 - 5 wt %のカップリング剤を含む、(1)から(3)のいずれか一つに記載の樹脂封止シート。

(5) (1)から(4)のいずれか一つに記載の樹脂封止シートを用いた太陽電池モジュール。